

講義名称	基礎演習Ⅱ	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	基礎演習	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	REQ112

授業のキーワード	教育史、「学び」の意義、文字教育
授業の概要	「学び」とはどのようなことなのか、を考えていきます。様々な学びの形態とその歴史の変遷を概観し、社会的な「学び」の中から生じてきた問題について言及します。
期待される学習成果 (目標)	1、必要な情報を集め、自分なりに取捨選択する力を身につけることができます。 2、調べたことを文章にまとめ、発表する力を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	資料輪読①	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
3	資料輪読②	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
4	資料輪読③	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
5	中間のまとめ	前講までの内容を総括します。これに関連し、各自が調べてみたいと思うテーマの候補をあげます。
6	情報収集①	テーマに応じ、発表に必要な情報の収集を行います。
7	情報収集②	テーマに応じ、発表に必要な情報の収集を行います。
8	情報収集③	テーマに応じ、発表に必要な情報の収集を行います。
9	報告①	集めた情報をもとに簡単な報告を行います。
10	報告②	集めた情報をもとに簡単な報告を行います。
11	中間のまとめ	前講までの内容を総括します。
12	資料輪読④	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
13	資料輪読⑤	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
14	資料輪読⑥	教育史に関わる文献を部分的に輪読します。
15	まとめ	本講での学習内容を総括します。期末のレポート課題のテーマを各自が決定します。

定期試験	本講で学んだことをふまえ、レポートを作成してもらいます。
評価方法	授業への取り組み (30パーセント)、課題レポート (70パーセント) を総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	辻本雅史『「学び」の復権 一模倣と習熟一』(岩波現代文庫) 小山静子監修『子ども・家庭と教育』(論集現代日本の教育史4) 日本図書センター 海後宗臣ほか『教科書でみる近現代日本の教育』東京書籍